

臨床心理士によるメンタルヘルスチェック面談情報を利用した臨床研究について

虎の門病院心理部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、新型コロナウイルス感染症患者対応を行った看護師に対して、臨床心理士が行ったメンタルヘルスチェック面談で得られた情報をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の面談情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2020年4月16日 ～ 2020年7月31日の間に、新型コロナウイルス感染症患者の対応を行い、臨床心理士によるメンタルヘルスチェック面談を受けられた看護師のみなさま。

【研究課題名】

新型コロナウイルス感染症患者対応看護師の心理的特徴

【研究の目的・背景】

虎の門病院では、2020年2月から新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、治療を行ってきました。有効なワクチンが開発されておらず、治療薬に限られる中、患者の最も近くで長時間にわたり看護を提供する看護師は、心身にさまざまなストレスを受け、メンタルヘルス不調をきたす可能性が高いことが想定されました。そこで虎の門病院の新型コロナウイルス感染症対策本部の下部組織である健康支援グループに所属する臨床心理士は、新型コロナウイルス感染症患者対応を行う看護師を対象にメンタルヘルスチェック面談を施行しました。

本研究では、面談記録情報をもとに、新型コロナウイルス感染症患者対応を行う看護師の心理的特徴を明らかにし、メンタルヘルス不調を予防するために必要な心理的支援について提示することを目的とします。

【研究のために面談記録を解析研究する期間】

2020年8月21日 ～ 2020年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公

表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院心理部、館野由美子のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する情報】

年齢、経験年数、性別、ストレス要因、ストレス反応、ストレス対処法などの心理面談情報。

【研究責任者】

虎の門病院精神科・心理部 大前 晋

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び心理面談情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の心理面談情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の心理面談情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も看護師の皆様は何らかの不利益が生じることは一切ありません。

【相談窓口】

虎の門病院 心理部・館野由美子

電話 03-3588-1111(代表)、内線 PHS 7623